

## (2) リーグ戦

## ① 順位

2014Jリーグ デイビジョン1【第5節】 総得点:117 試合平均得点:2.60

※2014年3月29日時点

順位	クラブ名	勝点	試合	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	鹿島アントラーズ	12	5	4	0	1	12	3	+9
2	セレッソ大阪	10	5	3	1	1	8	2	+6
3	サンフレッチェ広島	10	5	3	1	1	7	5	+2
4	サガン鳥栖	9	5	3	0	2	8	4	+4
5	横浜F・マリノス	9	5	3	0	2	7	4	+3
6	名古屋グランパス	9	5	3	0	2	7	6	+1
7	ヴィッセル神戸	8	5	2	2	1	9	7	+2
8	アルビレックス新潟	8	5	2	2	1	4	4	+0
9	川崎フロンターレ	7	5	2	1	2	11	8	+3
10	大宮アルディージャ	7	5	2	1	2	11	9	+2
11	浦和レッズ	7	5	2	1	2	5	5	+0
12	柏レイソル	6	5	1	3	1	6	5	+1
13	ヴァンフォーレ甲府	6	5	1	3	1	4	7	-3
14	ガンバ大阪	5	5	1	2	2	3	4	-1
15	F C 東京	5	5	1	2	2	6	9	-3
16	清水エスパルス	4	5	1	1	3	6	11	-5
17	ベガルタ仙台	2	5	0	2	3	2	9	-7
18	徳島ヴォルティス	0	5	0	0	5	1	15	-14

2014Jリーグ デイビジョン1【第5節】 総得点:131 試合平均得点:2.38

※2014年3月30日時点

順位	クラブ名	勝点	試合	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	湘南ベルマーレ	15	5	5	0	0	13	3	+10
2	ジュビロ磐田	10	5	3	1	1	12	6	+6
3	松本山雅FC	10	5	3	1	1	10	5	+5
4	V・ファーレン長崎	10	5	3	1	1	9	5	+4
5	ザスパクサツ群馬	9	5	3	0	2	5	6	-1
6	栃木SC	8	5	2	2	1	6	3	+3
7	コンサドーレ札幌	8	5	2	2	1	6	4	+2
7	京都サンガF.C.	8	5	2	2	1	6	4	+2
9	アビスパ福岡	8	5	2	2	1	7	6	+1
10	横浜FC	8	5	2	2	1	5	4	+1
10	大分トリニータ	8	5	2	2	1	5	4	+1
12	FC岐阜	7	5	2	1	2	9	7	+2
13	ジェフユナイテッド千葉	7	5	2	1	2	6	5	+1
14	水戸ホーリーホック	7	5	2	1	2	4	3	+1
15	愛媛FC	6	5	1	3	1	3	4	-1
16	ギラヴァンツ北九州	6	5	2	0	3	4	8	-4
17	モンテディオ山形	5	5	1	2	2	5	5	+0
18	ファジアーノ岡山	5	5	1	2	2	3	4	-1
19	ロアッソ熊本	4	5	1	1	3	4	9	-5
20	カターレ富山	1	5	0	1	4	2	9	-7
21	東京ヴェルディ	1	5	0	1	4	4	12	-8
22	カマタマーレ讃岐	0	5	0	0	5	3	15	-12

順位	クラブ名	勝点	試合	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	グルージャ盛岡	10	4	3	1	0	9	1	+8
2	FC町田ゼルビア	8	4	2	2	0	6	1	+5
3	ガイナレ鳥取	8	4	2	2	0	3	1	+2
4	ツエーゲン金沢	7	4	2	1	1	10	3	+7
5	FC琉球	7	4	2	1	1	7	3	+4
6	AC長野パルセイロ	7	4	2	1	1	4	5	-1
7	Jリーグ・アンダー22選	6	4	2	0	2	7	12	-5
8	藤枝MYFC	4	4	1	1	2	8	10	-2
9	SC相模原	3	4	1	0	3	2	7	-5
10	ブラウブリッツ秋田	2	4	0	2	2	4	7	-3
11	Y. S. C. C. 横浜	2	4	0	2	2	2	8	-6
12	福島ユナイテッドFC	1	4	0	1	3	2	6	-4

## ② 入場者数

J1 (総試合数306)

(人)	平均比較	合計	平均
2014年度	-891	735,061	16,335
2013年度	-	5,271,047	17,226
前年比	95%		

J2 (総試合数462)

(人)	平均比較	合計	平均
2014年度	-211	354,986	6,454
2013年度	-	3,079,181	6,665
前年比	97%		

J3 (総試合数198)

(人)	平均比較	合計	平均
2014年度	-	52,926	2,205

(3) リーグカップ戦

① 順位

2014Jリーグヤマザキナビスコカップ 予選リーグ

※2014年3月19日時点

Aグループ【第1節】

順位	クラブ名	勝点	試合	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	清水エスパルス	3	1	1	0	0	4	0	+4
2	F C東京	3	1	1	0	0	3	1	+2
3	ガンバ大阪	3	1	1	0	0	2	0	+2
4	鹿島アントラーズ	0	1	0	0	1	1	3	-2
5	ヴィッセル神戸	0	1	0	0	1	0	2	-2
6	ベガルタ仙台	0	1	0	0	1	0	4	-4
7	サガン鳥栖	-	-	-	-	-	-	-	-

Bグループ【第1節】

順位	クラブ名	勝点	試合	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	アルビレックス新潟	3	1	1	0	0	3	1	+2
2	柏レイソル	3	1	1	0	0	2	1	+1
2	ヴァンフォーレ甲府	3	1	1	0	0	1	0	+1
4	浦和レッズ	0	1	0	0	1	1	2	-1
5	名古屋グランパス	0	1	0	0	1	0	1	-1
6	徳島ヴォルティス	0	1	0	0	1	1	3	-2
7	大宮アルディージャ	-	-	-	-	-	-	-	-

② 入場者数

(人)	平均比	合計	平均
2014年度	-2,292	42,613	7,102
2013年度	-	516,684	9,394
前年比	76%		



## NEWS RELEASE

報道関係各位

2014年3月13日  
公益社団法人 日本プロサッカーリーグ

### ホームゲームにおける差別的な内容の横断幕掲出に対し 浦和レッズに制裁を決定

Jリーグ 村井 満チェアマンは、3月8日(土)に開催されたJリーグディビジョン1第2節「浦和レッズ vs サガン鳥栖」において、差別的な内容の横断幕が掲出されたことに対し、裁定委員会からの答申を踏まえ、以下のとおり制裁を決定いたしました。制裁内容は以下のとおりです。

#### 記

#### 【制裁内容】

1. 対象行為 : 2014年3月8日(土)16:00キックオフ 埼玉スタジアム2002にて行われた、Jリーグディビジョン1第2節「浦和レッズ vs サガン鳥栖」の試合において、浦和レッズサポーターにより「JAPANESE ONLY」という差別的な内容の横断幕が、ホーム側ゴール裏席に向かう入場ゲート上コンコースに向けて掲出された。横断幕の掲出は、14:00~15:00の間から試合終了後まで続いた。
2. 制裁内容 : (1) 譴責 (始末書を取り、将来を戒める)  
(2) 無観客試合の開催 (入場者のいない試合を開催させる)  
※対象試合: Jリーグディビジョン1第4節 浦和レッズ vs 清水エスパルス  
2014年3月23日(日)15:00キックオフ (埼玉スタジアム2002)
3. 制裁の理由 : 浦和レッズは、スタジアム内において不適切な内容が書かれた横断幕が掲出されたにもかかわらず、試合終了後まで当該横断幕を撤去できなかった。  
当該横断幕の記載内容は「JAPANESE ONLY」であり、差別表現と受け止めた方もいることから、その掲出意図に関わらず差別的な内容と判断できる。  
国際サッカー連盟(FIFA)は、2013年5月の総会で「反人種差別・差別に関する戦い」に関して決議し、同年7月にはFIFA加盟各国協会に対してガイドラインを提示するとともに、関連する規程を整備する等の適切な対処を求めている。  
これに対し、日本サッカー協会(JFA)は同年11月に規程を整備するとともに、JFA加盟団体に対しても周知徹底している。  
これを受け、Jリーグにおいても、Jリーグ所属クラブに対する周知徹底を行ったり、トラブル事案が起こった際のマッチコミッショナーの手続きを定めたり、FIFA等における判例を調査し各クラブに周知する等の対策を実施している。  
浦和レッズは2010年に、サポーターが本件と類似したトラブルを起こしたことによって制裁を受けており、本件は累犯となる。また、2010年に制裁を受けた事実以外にも、浦和サポーターは、これまでも度々トラブルを起こしている。  
浦和レッズは、過去にサポータートラブルの件でJリーグから再三の制裁を科されているにもかかわらず、本件のような結果に至った責任は非常に重大である。
4. 適用条項 :
  - ① Jリーグ規約第3条〔遵守義務〕第1項、第4項、第5項
  - ② Jリーグ規約第51条〔Jクラブの責任〕第2項、第3項
  - ③ Jリーグ規約第141条〔チェアマンによる制裁および調査〕第1項
  - ④ Jリーグ規約第142条〔制裁の種類〕第4項第1号、第4号

以上

(注意) 制裁の対象となる試合のチケットの取り扱い等については、別途浦和レッズより発表される予定です。